

0～5歳児の特徴

◆ 出生～1歳頃 ◆

- 赤ちゃんの目を見て授乳してください。
- 赤ちゃんは、泣くことでコミュニケーションをとっています。

◆ 1歳～2歳頃 ◆

- 自分でやってみたいという気持ちがでてきます。
- 言葉を覚えはじめます。

◆ 2歳～3歳頃 ◆

- 食事や着替えなどを自分でやりたがるようになります。
- 自分の考えを話すようになります。

◆ 3歳児 ◆

- 基本的な生活習慣を身に付け始めます。
- 日常的な会話ができるようになります。

◆ 4歳児 ◆

- 疑問について質問するようになります。
- 「約束」の意味がわかるようになります。
- 他の人の気持ちを想像できるときと、できないときがあります。

◆ 5歳児 ◆

- 基本的な生活習慣は、ほぼ身に付きます。
- 文字に興味が出てきます。
- 3・4歳に比べ、他の人の気持ちが想像できるようになります。

◆ 困ったときには・・・ ◆

- ★ 茨城子ども救急電話相談
- ★ 救急医療情報コントロールセンター
- ★ 茨城県救急医療情報システム
- ★ 中毒110番
- ★ くすりの相談室



発行 2021年2月
編集 茨城県教育庁総務企画部生涯学習課
就学前教育・家庭教育推進室
〒310-8588 茨城県水戸市笠原町978番6
TEL 029-301-5132

本を読んであげる時間



子どもに本を読んであげる時間は、親と子どもの思いが深く結びつく、すてきな時間になります。そして、子どもの考える力や豊かな心を育てていきます。

短い時間でもよいので、子どもと絵本の世界を楽しんでください。

◆ 家庭教育関連リンク ◆

茨城県の家庭教育応援ナビ

「すくすく育て いばらきっ子」のリンク集から、下記のサイトにアクセスできます。



★ 文部科学省

- ・ 外国につながる子供の学び応援リンク集

★ 茨城県教育委員会

- ・ 就園・就学リーフレット(6言語版)

★ 茨城NPOセンター・コモンズ

- ・ 外国にルーツを持つ児童生徒の就学、進学に関する相談 他

★ (公財)茨城県国際交流協会

- ・ 外国人のための生活情報
- ・ 外国人相談センター 他



★ (公財)かながわ国際交流財団

- ・ 外国人住民のための子育てチャート
- ・ ~妊娠・出産から小学校入学まで~ 他

★ 愛知教育大学 外国人児童生徒支援リソースルーム

- ・ 幼保ガイドブック
- ・ 国際ファミリーのための日本の小学校に入学する前に(生活編) 他

子育てアドバイスブック ひよこ

やさしい日本語版

0～5歳の子をもつ保護者向け



心の安全基地



子どもは、さまざまな体験を通して、心の世界を広げていきます。その成長の中で、安心できる場所は家庭です。新しい世界へと歩いていく子どもにとって、家庭は「心の安全基地」であると言えます。

★ リーフレットについて ★

- このリーフレットは「子育てアドバイスブックひよこ」(2019年7月発行)をもとに作成しています。
- 右記のQRコードから家庭教育応援ナビ「すくすく育て いばらきっ子」にアクセスし、モバイル版でくわしい情報を見ることができます。



家庭教育応援ナビ



茨城県教育委員会

Ibaraki Prefectural Board of Education



あいさつと返事



あいさつと返事は、幼いころからの習慣が大切です。

子どもが元気よくあいさつできたら、「いいあいさつだね」「気持ちよかったよ」と言ってください。

きまりを守る心



子どもは、身近な大人のすることをまねします。

きまりを守るよう厳しくするのではなく、親は自分の行動でお手本を示してください。

メディアの利用



メディアは上手に利用することが大切です。

メディア機器を利用する時間や場所などのルールを家族で決めてください。

お手伝い



人の役に立つうれしさや満足感、思いやりの心を育てます。失敗しても温かく見守り、叱らないでください。また、無理にお手伝いをさせてはいけません。

早寝早起き朝ごはん



「食事」と「睡眠」は、心や体が成長している子どもにとって、とても重要なものです。

「早く寝る・早く起きる・朝ごはんを食べる」を習慣化し、生活習慣を整えてください。

話を聞いて



話したことをきいてもらうと、子どもは「愛されている」と感じます。

子どもは、話しながら頭の中で考えをまとめ、思考力を深めていきます。

子どもが話すことを、親はゆっくり聞いてあげてください。

いろいろな体験活動



子どもは、いろいろな体験をしながら成長します。遊びに夢中になると、やる気、意欲、ねばり強さ、探求する力が身につきます。

子どもの「やってみたい」という思いを大切にしてください。

自己肯定感を育むために



自己肯定感とは、「自分は大切な存在だ」「自分はかけがえのない存在だ」と思えることです。

大切にもっている気持ちをしっかりと伝えましょう。子どもは心が満たされ、安心します。



◆ 各項目のくわしい情報や、こまったときの相談窓口など、子育てに関する情報がたくさんついています！

→ モバイル版へアクセス

